くも合戦

かじき広報

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き
（63年12月1日現在）

総人口23,790人（＋4）	出生　20人
男　11,213人（－1）	死亡　22人
女　12,577人（＋5）	転入 103人
世帯数 8,221　（＋11）	転出　97人

●（　）内は前月との比較●

今年は巳年

今年は巳（み）年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬（は）虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拝と畏敬（いけい）の対象でもありました。

例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。

ところで、蛇は、生きている間ずっと成長し続けます。発育に伴って、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換えられる――脱皮です。

今年こそは新しい試みをと脱皮を心がけておられる方、うまくいくといいですね。

新しい年の幕明け（高岡公園）

平成元年

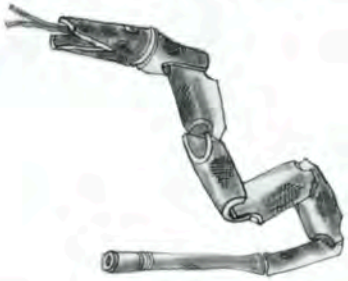
1 月号

今月のページ

▷新年のごあいさつ…2ページ　▷議会報告・職員の異動…3ページ　▷加治木を児童文学の拠点に…4～5ページ　▷まちのわだい…6～7ページ　▷カメラ・ルポ（町消防出初式）…8ページ　▷薬草，在宅医，竜門句会…9ページ　▷おしらせ…10ページ

●No. 411　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62－2111●

今年は巳年



宇都宮明人町長

山崎昭議長

21世紀へ向けて町づくりを

加治木町長 宇都宮 明人

明けまして
おめでとう ございます

町民の皆様方には、平素から町政発展のために御協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

今年は、町政に携わりましてから三年目になります。この間、公約の通り町政の流れを変えるべく第一年目は関係機関に布石を置き第二年目はその布石を一歩一歩踏みしめ確実に前進したものと自負致しております。

お陰様で懸案の諸問題、仮屋馬場通線の完成、十年来の悩みでございました上場（西浦地区）水道用水の溝辺町との水源地の解決、木田本通線こ線橋の着工、加治木小学校増築工事の完成、柁城小学校改築工事の着工、仮称「椋鳩十文学記念館」の誘致、下水道事業の基礎調査着手、農業対策、ほ場整備の拡大、各種農産物需要対策、国道十号線バイパスの予算獲得など、当面する諸問題はほぼ計画どおり達成し得たと思っております。

これもひとえに町民各位の全面的な御協力のたまものと感謝致しております。

21世紀に向けて、町には幾多の諸問題が山積しておりますが、皆様と共に知恵を出し合い、町民のための行政をつかさどる所存でございます。

町発展のためには、投資が必要でございます。

投資なくして発展はありえないわけでございまして、そのためには、町民の皆様の御理解と御協力が今ほど必要な時期はないものと思っております。

21世紀まで後十一年。

この期間が他町村に比べ一番大事な、残された町発展への最後のカギでもあり、最も重要な注意深い時期でもあります。

また、住環境の整備を図り、残された木田振興地区及び上場地区の計画的総合開発、特に人口増加を図る事がひいては商店街の活性化にもつながることとなります。

前に述べました通り、多大の投資が必要となりますが、この投資が何十倍もの実りとなり、21世紀には町へ還元される事になると信じます。

行動力が思考力を生み出し、また、行動することが知恵をも生み出します。自分たちの町、また、子々孫々に悔いを残さないためにも、みんなで汗と知恵を出し合い頑張ろうではありませんか。

終わりに皆様方のますますの御発展と御健勝を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

平成元年の門出

加治木町議会議長 山崎 昭

新年おめでとうございます。

一九八九年の元旦、平和のうちに迎えることができました。

新しい年をことほぎ、みなさまの御健勝を心から祈念いたしたいと思います。

昨年を振り返って見ますと、

竜門小学校の新校舎の完成、加治木小学校の校舎増築の完成、柁城小学校の老朽木造校舎の改築着工などありますが、中でも長年の懸案でありました仮屋馬場通線の開通、着工以来十年かかりましたが、関係町民のかたがたの御協力により、これからの交通の流れ、町民の利便に大きく役立つことと思われます。

この路線の開通と併せて急がれるのが、新生町の入り口で止まっている国道10号バイパスの早期完成です。

町執行部が、この国道10号バイパスの工事着工のため、出来る限りの努力をされていますが、その運動が実って、今年から着工に向けての具体的な作業が始まることと思います。

あと一線、完成が待たれる木田本通線、関係町民のかたがたの御理解と御協力をいただいて、一日も早い開通が期待されるところです。

政治は住民のためにあるもの。新設や改良が急がれる道路の問題。明日の日本を背負う青少年の育成とその環境づくり。

世界一の長寿国となった高齢化社会を支えていく恒久的施策。

そして、それに伴う住民負担の問題。

税金は低いほど、喜ばれます。行政に要する出費や国民健康保険等の医療費を極力押さえ、負担の軽減がどこまでできるか、政治の知恵の出し所であります。

加治木町は文化的な香りを残した平和な、いい町です。

先人から受け継いだ、このふるさとを、もっと住みよい町にするために、今、何をなすべきなのか町執行部、町議会、大きな責務を負わされています。

やれば出来る、やる気を出せば道は開ける、それが政治です。

住民各界のかたがたの英知を結集して、

風格のある、ふるさとづくり

心あたたかい風土づくり

夢を高く求めて、加治木町の建設を進めて行きたいものです。

平成元年の新しい門出の年。

年頭にあたり、皆様と力を合わせてすばらしい町づくりの一歩を踏み出したいと念じております。

議会報告

補正予算など十九の議案を可決

第四回 町議会定例会

第四回町議会定例会は、十二月十五日から十二月二十三日までの九日間の会期で開催され、一般会計補正予算や教育委員会委員の任命について議会の同意を求める件など二十の議案を審議し、十九の議案を可決しました。

また、陳情一件、意見案一件、決議案一件を可決・採択しました。

乙須初男氏の再任に同意

町教育委員会委員

町議会では、任期満了に伴い、町教育委員会委員に乙須初男氏を再任することに同意しました。

任期は、四年間です。

▽乙須初男氏の略歴

大正十年九月十五日生まれ

川内市高城東中学校校長、出水教育事務所所長、串木野市串木野中学校校長、川内市川内北中学校校長などを歴任。五十八年一月から町教育委員会委員（教育長）。

◎現住所　諏訪町一九二番地

仮称「椋鳩十文学記念館」の設計委託料などを追加

一般会計の補正予算は、仮称「椋鳩十文学記念館」の設計委託料や給与改定など、歳入歳出それぞれに一億三千百十四万七千円を追加し、総額は四十四億八千五百七十七万五千円となりました。

主なものは、次のとおりです。

▽国道十号線こ線橋下の駐輪・駐車場工事請負費ほか七百五万円▽重度心身障害者医療費助成金三百七十万円▽小規模土地改良事業補助三百五十万円▽肉用牛等振興施設整備事業補助八十八万三千円▽県営ほ場整備加治木地区工事負担金三百七十二万九千円▽道路舗装補修工事請負費（鈴玉線ほか八）一千三百六十万円▽生活道路整備費補助金（寺後地区ほか四）三百十二万五千円▽育英奨学基金費積立金百万円▽自治公民館建設補助百五十五万円▽現年災害復旧費工事請負費三千百九十三万六千円

拡張される加治木港

原案（異存はない）のとおり可決

公有水面埋立てに関する意見

「公有水面埋立てに関する意見について」の議案が、原案（異存はない）のとおり可決されました。

これは、県が昭和六十年度から進めている加治木港の改修事業に伴い、港内の公有水面の一部を埋め立てることについて、県から町の意見を求められていたものです。

埋め立てられるのは、現在の加治木港に接した東側四千六百二十三・二三平方㍍で、物揚場（約一千三百平方㍍）や野積場（約二千六百六十五平方㍍）、船揚場（約百八十八平方㍍）などが設けられることになっています。

役場職員の異動

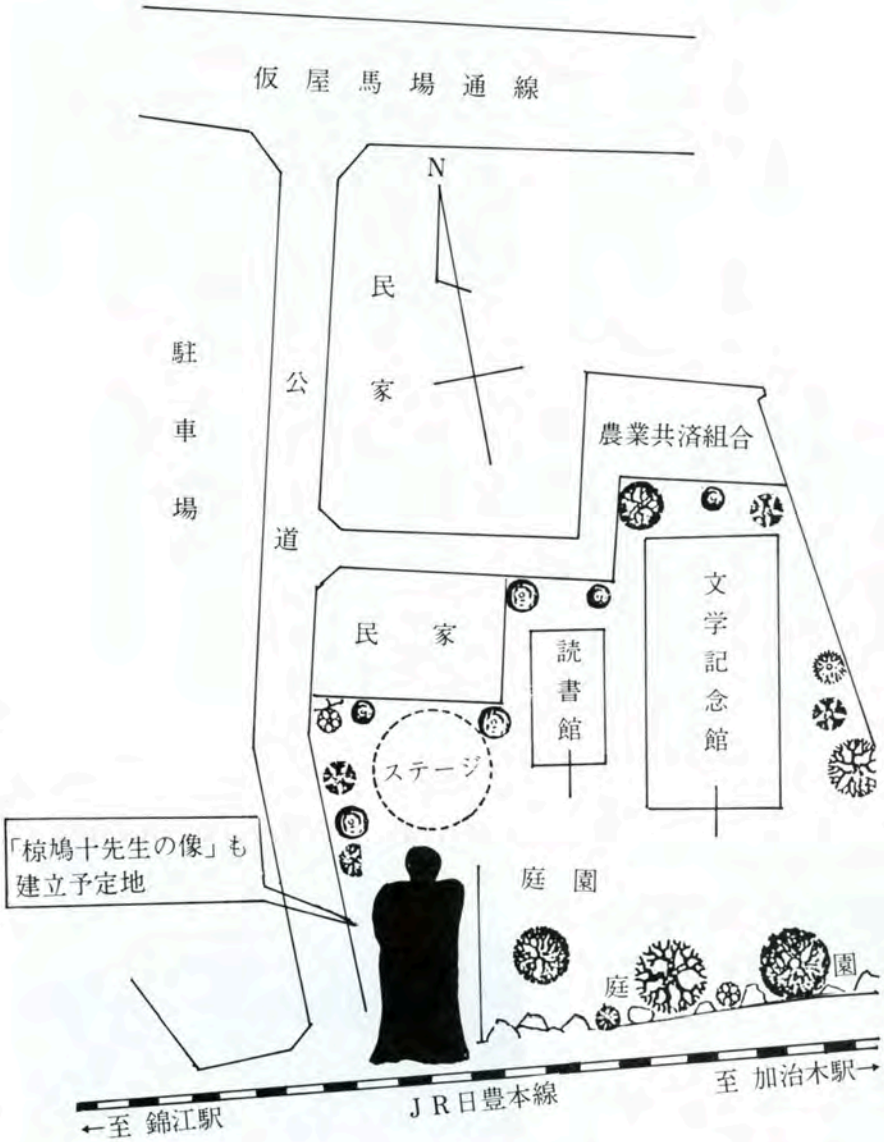
一月一日付
（　）内は旧課

隈原　一男　総務課参事（企画課長）
向江　豊　総務課参事補（社会教育課長補佐兼社会教育係長）
東　清治　姶良郡西部衛生処理組合へ出向（住民課長）
森木　幸雄　都市計画課長（土木課長）
徳寄　圀宗　企画課長（税務課長）
長井　利弘　福祉課長（姶良郡西部衛生処理組合局長）
永山　里志　住民課長（総務課長補佐兼庶務係長兼人事係長）
遠矢　義美　土木課長（土木課長補佐兼土木係長）
加治屋　博　税務課長（税務課長補佐兼課税第一係長）
宮原　藤朗　土木課長補佐兼管理係長
（保健衛生課長補佐兼国民健康保険係長）
白尾　親昭　総務課長補佐兼庶務係長兼人事係長
（監査事務室書記）
今薗　敬介　保健衛生課長補佐兼環境衛生係長（税務課徴収係長）
神田　哲夫　税務課長補佐兼課税第一係長兼課税第二係長
（税務課課税第二係長）
坂元　和久　社会教育課長補佐兼社会教育係長
（議会事務局議事兼庶務係長）
久保　繁　監査事務室書記（水道課管理係長）
今西　健二　水道課管理係長（総務課消防交通係長）
中山　修二　税務課徴収係長（保健衛生課保健係長）
大迫　生代　保健衛生課保健係長（土木課管理係長）
東　秀行　保健衛生課国民健康保険係長
（保健衛生課環境衛生係長）
木場　正夫　議会事務局議事兼庶務係長
（学校給食共同調理場事務係長）
神村　次郎　土木課土木係長（都市計画課都市計画係長）
原口　隆嗣　学校給食共同調理場事務係長（総務課）
外園　三郎　都市計画課都市計画係長（都市計画課）
野元　則博　総務課消防交通係長（総務課）
神園　順一　総務課（土木課）
本村　鈴子　住民課（土木課）
中原　敏晴　経済課（住民課）
吉岡　万里子　土木課（福祉課）

加治木を児童文学の拠点に
椋鳩十先生の記念館を建設

町では、JRからも見える役場北側の町有地に、加治木町にゆかりの深い、作家「椋鳩十先生」の文学記念館や読書館などを建設する計画です。

これは、御遺族の御快諾を得て、建設が決まったもので、町では、先生によって点火された『母と子の二十分間読書運動』を継承してゆく場として、また、町民が気軽に親しめる〝児童文学の拠点〟として、平成二年三月の完成を目指し、工事を進めることにしています。



建設予定地

椋鳩十さんをしのんで
〈第1回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会　会長
山口　正

椋鳩十さんは、本名を「久保田彦穂」といって、長野県出身の児童文学者。南国にあこがれ住みつき、鹿児島県人となった人です。

わが加治木町に、戦前、加高女の先生として居住され、この町をこよなく愛したお方。誠に奇特な人と申せましょう。

このたび、椋鳩十記念館が加治木の里に建つことになった、という話を、東京加治木会の総会で宇都宮町長から承り、驚くやら狂喜するやら、これが快事でなくて何であろう、そう思って、心から祝福したのです。

小学校の教科書に先生の作品が幾つか出ていますから、覚えている人も多かろうと思いますし、親子読書運動の主唱者でかつリーダーだったという功績については皆さんご存じのはず。

私は、椋さんとお会いしたのは一回だけでした。城山裏の西郷さんの墓に近いお宅でのことが忘れられません。

現在でも、機会があればあの美しい文体を大学その他で朗読しています。児童文学といっても、文学の傑作ですし、学生たちは感動の反応を示し、中には涙ぐんで聴き入るのもいます。

特に「マヤの一生」などは、戦時下の悲しい物語です。

私は、加治木のあちこちを思い浮かべ、読みながら、胸迫る思いをすることしばしばです。

椋さんは明治三十八年生まれですから、私よりも四年先輩ということになります。

御出身の長野県飯田中学校に私が五十年前の三年間勤務していたとき、山窩文学の新進作家が、わが郷里の教師となっておられることを知って、ファンレターを出したのです。

数年前にお訪ねして、昔語りをしているうちにボンヤリ思い出してくださいました。

◇　◇　◇

今月号から、本町（昔の新町）の御出身で、現在東京にお住まいの「山口正先生」から、〝椋鳩十さんについての思い出話〟など、玉稿をお寄せいただくことになりました。

御精読いただければ幸いです。

元気だったころの椋さん＝58年7月（南日本新聞社提供）

マヤの一生　椋鳩十著

No. 1

わたくしの家では、三つの、生きものを飼っていました。

ニワトリのピピ。ネコのペル。犬のマヤでした。

このニワトリとネコと犬は、たいへん仲がよかったのです。「そんな、バカな」と、いう人がいるかもしれませんが、ほんとうに、仲がよかったのです。

ピピは、食いしんぼうのニワトリでした。おなかいっぱい食べて、も、畑の土を、あしで、ひっかき

No. 2

まわして、虫をほりだして、つついてみたり、キックン、キックンと、木ぼりの人形みたいな歩き方をして、庭じゅうを、食べものをさがして、歩きまわるのでした。

休みなしに、食べ物を、みつけて歩かないと、気がすまないのかもしれません。

三つの動物には、朝、昼、夕方と、いつも同じ時間に、餌をやるのでした。

（愛犬への鎮魂歌ともいうべき「マヤの一生」の書き出しから）

椋鳩十先生の略歴

本　　名　久保田彦穂
生年月日　明治38年1月22日生
　　昭和62年12月27日御逝去（82歳）
住　　所　鹿児島市長田町26―4
出 生 地　長野県喬木村阿島北

（学　歴）
明治44年　喬木第一尋常小学校入学
大正8年　長野県立飯田中学校入学
大正13年　法政大学入学
昭和5年　法政大学卒業

（職　歴）
文筆活動に専念するほか次の職業につく。
昭和5年　5月より7月まで，鹿児島県熊毛郡中種子高等小学校代用教員
同　　年　8月より鹿児島県立加治木高等女学校国語教師
昭和22年　鹿児島県立加治木高等女学校校長事務取扱兼教頭
同　　年　鹿児島県立図書館長就任
昭和41年　鹿児島県立図書館長退任
昭和42年　鹿児島女子短期大学教授兼図書館長就任
昭和53年　鹿児島女子短期大学教授を退任

（文筆活動の概要）
大正15年　21歳で最初の単行本「駿馬」を刊行
昭和2年　第二詩集「夕の花園」刊行　共に学生時代
昭和8年　山窩小説「山窩調」を椋鳩十で出版
　　朝日新聞に「山窩譚」
　　都新聞に「夏の日抄」投稿
昭和13年　少年小説「山の太郎熊」を発表
昭和16年　「大造爺さんと雁」を発表
昭和17年　「月の輪熊」発表
昭和18年　「動物ども」を出版　文部省推薦図書となる
昭和27年　「片耳の大鹿」を出版　教科書に採用される
昭和30年　「山の大将」を発表
昭和31年　「金色の足跡」を英訳しアメリカで出版
昭和34年　「母と子の20分間読書」の構想を発表
　　この運動が全国に普及する
昭和56年　「椋鳩十の本」全25巻
　　「椋鳩十全集」全26巻を刊行
　　この他出版された本は200を数える

（受賞の数々）
賞を受けた数は極めて多く，代表的なものを列挙すると
昭和27年　「片耳の大鹿」出版により文部大臣奨励賞
昭和30年　文学活動図書館活動により南日本文化賞
昭和39年　「孤島の野犬」出版によりサンケイ児童出版文化賞　国際アンデルセン賞国内賞
昭和43年　「母と子の20分間読書」でモービル児童文学賞
昭和46年　「マヤの一生」「ももちゃんとあかね」により第1回赤い鳥文学賞
　　児童福祉文化奨励賞
　　読書運動の功績により学校図書館賞
昭和47年　文化活動の功績により鹿児島県民表彰
　　読書運動の功績により文部大臣賞
昭和51年　国語教育部門の功績により第7回博報賞
　　勲四等旭日小授賞の叙勲受賞
昭和57年　「椋鳩十の本」（全25巻），「椋鳩十全集」（全26巻）により芸術選奨文部大臣賞

文部大臣賞受賞を記念し，有志によって建てられた文学碑（天神公園）

まちのわだい

手作りの品や不用品を販売

●老人バザー（12月３日）

手作りの竹ぼうきやしめ飾り，野菜，家庭の不用品などを持ち寄り，老人バザーが今年も12月３日福祉センターで開催され，大勢の人でにぎわいました。

これは，町老人クラブ連合会が毎年開いているもので1,300点余りの品が市価の２～３割の価格で販売され，いくつもの品を買い込む人の姿も見受けられました。

売上金は，老人クラブの資金として活用されます。

加治木小学校が特選に

●町サンライフ花だんコンクール(12月７日)

暮らしの中に花を育て，優しい心を培おうと，町サンライフ運動推進協議会が募集した第３回町花だんコンクールの表彰式が12月７日，町長室で行われました。

表彰式では，小学校の部で特選に選ばれた加治木小学校をはじめ入選の柁城小学校，錦江小学校，一般の部・入選の向江町自治会にそれぞれ宇都宮町長から「美しい町づくりを進めて下さい」と賞状と盾が贈られました。

150キロ余りのコイの稚魚を放流

●網掛川漁協（12月３日）

子供たちに魚釣りを楽しんでもらおうと，網掛川漁協（吉薗清組合長）では11月25日と12月３日，150キロ余りのコイの稚魚を龍門滝と千鳥橋の下流に放流しました。

放流した稚魚は，加治木養魚場で育成された体長15～20センチの大きなもので，元気に泳いで行きました。

コイは１年間に13～15センチも成長するそうで，春には子供たちや釣り人を楽しませてくれることでしょう。

「ないた赤おに」などを公演

●ママさん人形劇団・ピノキオ(12月14日)

ママさん人形劇団「ピノキオ」によるクリスマス公演が12月14日，町立図書館の日本間で行われ，集まった80人余りの子供たちは，人形の動きに見入っていました。

これは，毎年，池平順子さんをはじめ９人のお母さん方が，手作りの人形を使って行っているもので，今回は「ないた赤おに」と「金のおの銀のおの」の２つの人形劇を披露。会場からは盛んな拍手が沸いていました。

まちのわだい

身近かなニュースや話題をお知らせ下さい。（☎62—2111）総務課文書係

立派な“しめ飾り”が完成

●子ども会員ら１２０人（12月18日）

町内の子ども会員や育成者120人余りが12月18日，役場グラウンドで“しめ飾り”作りを行いました。

これは，町子ども会育成連絡協議会と町教育委員会が開催したもので，この日は，岩元徳志さんや園田義明さん，下楠薗勲さん，河野ハルさんらの指導で，中心から七・五・三のタレを付けたしめ飾り作りに挑戦。立派な作品が出来上がり「いい正月が来ます」と大喜びでした。

“椋鳩十の本”など２７６冊

●町立図書館に「上原文庫」を設置（12月12日）

町立図書館に“椋鳩十の本”や日本の名随筆など276冊をそろえた「上原文庫」が12月12日設置されました。

これは，昨年４月，沖縄の上原清善さんが加治木町を訪れ「子供たちを立派に育成して下さい」と町に寄贈された50万円で購入し，特別コーナーを設けたものです。

真新しい図書が配架されると，訪れた子供たちは大喜びで，早速手に取り，熱心に読み入っていました。

錦江小学校が準優勝

●チビッ子サッカー大会（12月25日）

第４回加治木ロータリー杯チビッ子サッカー大会は12月25日，町営運動場で行われ，熱戦が展開されました。

この日は，町内外から12チームが参加。Ａチームの部で錦江小学校チームが準優勝に輝きました。

結果は，次のとおりです。〔Ａチームの部〕優勝…西姶良小▷準優勝…錦江小▷３位…太陽小〔Ｂチームの部〕優勝…西姶良小▷準優勝…建昌小▷３位…姶良小

キャロル・エイベルさんが来庁

●パース市からの留学生（12月28日）

オーストラリアのパース市から日本語の勉強に留学しているキャロル・エイベルさんが12月28日，町長室を訪れ，チューリップの花束を宇都宮町長に手渡しました。

キャロルさんは，12月12日から１月16日まで，小陣の榎谷富雄さん宅にホーム・スティしながら，鹿児島純心短大に通っており，この日は，スポーツや料理の話題など話に花が咲き，宇都宮町長と交流を深め合いました。

カメラ・ルポ

幼年消防隊が規律訓練を披露

町消防出初式

新春恒例の〝町消防出初式〟は一月十一日、雨天のため町営体育館で開催され、参加者は防火の誓いを新たにしていました。

式典では、大行天皇の崩御に伴い、参加者全員が一分間の黙とうを奉げた後、東光義・町消防団長をはじめ百六十二人の団員が、宇都宮町長の観閲を受けました。

また、高井田保育園と川野保育所、ひまわり保育園、かずみ保育園の四つの幼年消防隊の隊員が、きびきびとした動作で規律訓練を披露し、参加者からは盛んな拍手が沸いていました。

表彰を受けられたかたは、次のとおりです。

火遊びは絶対しません

▽始良伊佐支部長表彰

富安　龍司（中央分団　団員）

▽町長表彰並びに感謝状

■勤続章（三十五年）

蔵満　洋一（錦江分団　副分団長）

澤崎　菊男（錦江分団　部長）

■勤続章（二十五年）

桃木野　透（西別府分団　部長）

内村　清美（西別府分団　班長）

中野　次男（辺川分団　班長）

■勤続章（二十年）

黒川　龍男（中央分団　団員）

■勤続章（十五年）

富安　龍司（中央分団　団員）

■勤続章（十年）

脇　和夫（中野分団　分団長）

上村　政清（中野分団　副分団長）

林　時治（中央分団　団員）

上猶　好廣（辺川分団　団員）

笹峯　雄二（小山田分団　団員）

■団員表彰

中山　正行（西別府分団　団員）

松尾　実（中央分団　団員）

堀之内　仁（錦江分団　団員）

宮内　守夫（錦江分団　団員）

猪目　隆二（小山田分団　団員）

大園　廣（辺川分団　団員）

■功労章（支部操法大会ポンプ車の部・優勝）

有川　恭雄（錦江分団　分団長）

川畑　実（錦江分団　団員）

大串　敏之（錦江分団　団員）

宮内　守夫（錦江分団　団員）

川原　正三（錦江分団　団員）

■無火災表彰（出初式から一年間）

辺川分団（連続十八年間）

西別府分団（連続八年間）

小山田分団（一年間）

中野分団（一年間）

■感謝状

大吉　操（元加治木町消防団団長）

小宮路静哉（元辺川分団分団長）

福崎　藤男（元錦江分団　班長）

内村　敏幸（元西別府分団　班長）

吉村　虎男（元中央分団　班長）

増田　新（元錦江分団　団員）

▽消防団長表彰

坂下　敏幸（中野分団　班長）

上枝　市郎（西別府分団　団員）

垣内　光弘（小山田分団　団員）

三宅　利秋（小山田分団　団員）

寺師　幸一（中央分団　団員）

堀ノ内利則（錦江分団　団員）

川畑　実（錦江分団　団員）

▽消防後援会連合会長感謝状

郡山　欽也（元錦江分団　団員）

宮下　達男（元錦江分団　団員）

福永　政弘（元錦江分団　団員）

松元　達也（元中野分団　団員）

小宮路久則（元辺川分団　団員）

上荒磯　巧（元中央分団　団員）

毎月15日は「防火の日」

明治青年がはつらつプレー

第十回　はまなげ大会

郷土に伝わる正月の遊びを伝承してゆこうと、第十回はまなげ大会（町老人クラブ連合会主催）が一月六日、役場グラウンドで開催されました。

大会には、手作りのボットを手に、明治青年四十五人余りが参加。五人ずつに分かれてかしの木で作ったハマを打ち合う団体戦や、ハマの飛距離を競うセコ打ちに、はつらつとしたボットさばきを披露しました。

結果は、次のとおりです。

■団体戦…優勝竜門▽二位…東元▽三位…田中

■セコ打ち…優勝岩下鉄男87メートル

▽二位…井上福井81メートル

▽三位…恒森一美73メートル

熱の入った団体戦

城北地区が優勝

地区対抗　ミニ・バレーボール大会

だれでも気軽にスポーツに親しんでもらおうと、地区対抗に初めて取り入れられたミニ・バレーボール大会が十二月四日、加治木中学校体育館で開催されました。

大会には、十三地区のチームが参加し、ルールの説明が行われた後、熱戦が展開されました。

結果は、次のとおりです。

優勝…城北地区▽二位…城西地区▽三位…永原地区・木田第三地区

声援を背に

「福祉に役立てて」と20万円寄贈

松本夏江さん・柳田

柳田にお住まいの松本（旧姓徳寄）夏江さんが十二月十九日町長室を訪れ、「福祉に役立てて」と二十万円を町に寄贈されました。

松本さんは、上木田の御出身で、昭和二十年に久留米市の日本ゴムに入社。昨年十二月〝生まれ故郷〟に帰郷され「ささやかな気持ちですが」と寄贈されたものです。年に一～二回は帰省されていたという松本さんは「加治木は立派になりましたね」と、昔の様子などを懐しく話されました。

町では、福祉の向上のために、活用することにしています。

松本夏江さん

さつま狂句

▼兼題『忙け』　榊牛尾先生選

天　忙こ程　商売人の　恵比須顔　高木牛丸

唱　儲けをパッパッ　算用しかたで

地　俄か客き　嬶は忙こっ　永吉竹林

唱　化粧たくっ　塗れば　まんざらでも　なか器量

人　籾落しの　大忙け見い見　娘はデート　長重天玄

唱　そわそわしかた　出て行っきゃした

▼兼題『相談』　榊牛尾先生選

天　相談事ちゃ　焼酎ん本数が　物を言っ　永吉竹林

唱　前提灯じゃ　否も言われじ

地　黙い奴　言難き相談な　薬丸昭女

唱　嬶けさせっ　妻ん方が　口が上手めで

人　良か菊ち　賞めて切い出す　原口小烏

唱　銭相談　借いけ来た人が　役者が上じゃ

（社会教育学級生の作品）

薬草

知られざる効き目

ダイダイ

インド・ヒマラヤの原産で、日本へは奈良朝時代に中国から渡来しました。常緑の小高木で高さ四～五メートルになります。枝にはトゲがあり、暑さ寒さに耐え、樹勢があります。

ダイダイは一度結実すると七年は落果しないといわれ、冬には黄熟するが、夏になると緑果となって、その年の新果と見分けがつかなくなります。

このように何代ものダイダイが一本の木に着果するさまを、長寿の家族に見立てて、ダイダイを「代々」の字にあて、目出度いとし、果皮が黄金色になりこれを黄金にあやかって、新年から黄金がどっさりはいりますようにと、玄関先の正月飾りに用いられるようになりました。

ダイダイは昔から民間療法でいろいろと使われ、健胃、筋肉のひきつりや痛み、婦人疝痛などに奇効ありとされています。

かぜやせきの場合、皮をせんじて温服するか、実のしぼり汁に砂糖をまぜ、熱湯を加えて温かいうちに飲むとよい。

のどが痛むときは、皮を黒焼きにして飲む。

魚の中毒・二日酔いには、実の皮をせんじて飲むとよい。

顔や手の皮膚が荒れたときには、実を切ってしょうちゅうにつけておき、それをすりこむとよい。

胃が弱く、食欲がないときは果皮の粉末二グラムを一回量とし、一日三回、食前に服用する。

この皮からママレードをつくり、花を蒸溜した精油から高級香料をつくります。

橙の
赤きが見えて空家かな　王城

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮下さい。

竜門句会

日輪を呑む大海の寒夕焼　加藤　白柳

枯藪に夕日の深く石蕗の花　三浦　ゆう

嵯峨野路は迷ふも楽し竹の春　内田美津代

父の背に眠る袴の千歳飴　古江　重美

満潮を染むる岬の櫨紅葉　竹山　洋子

初時雨酒も供えて牧神碑　鶴田　耕

事あればとき母を恋ひ石蕗の花　佐々木かすみ

寄り合ひの菜園分かつ菊の列　柳田　稔

田の神の笑みこぼしたる小春かな　高木　正男

砂糖煮る大鍋白き煙あぐ　川崎　黒兎

奥耶馬の紅葉車を捨て歩く　恒吉　斗南

日曜在宅のお医者さん　2月

	在宅医	☎
5日	加治木整形外科	62 3711
11日	大井病院	63 2291
12日	加治木温泉病院	62 0001
19日	壱岐医院	62 2222
26日	池田医院	62 2220

おしらせ

1989 1

土曜日の公金取扱い

昨年から、皆様方の公金払い込みの利便を図るため、町内のすべての金融機関の窓口で、税金等の払い込みが出来るようになりましたが、二月から金融機関は〝毎週土曜日が休み〟になります。

これに伴い、毎週土曜日の公金払い込みは出来なくなりますので町民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

なお、税金等の納期限が土曜日に当たるときは、翌週の月曜日(その日が祭日の場合は翌日)が納期限日に変更されます。

国税のことなら税務連絡員へ

加治木税務署では、国税に対する納税者の意見、要望、苦情等を収集し、税務行政の円滑な運営を行うために『税務連絡員』を委嘱しています。

御意見、御要望などありましたら、ぜひ『税務連絡員』までお寄せください。

加治木町の税務連絡員は、次のかたがたです。

▽林　敏克さん　新富町三
☎六二―六一八一

▽岩下吉廣さん　本町三
☎六三―二八一一

〝税務連絡員は、あなたと税務署のパイプ役です。〟

タコあげは電線のないところで

タコあげのシーズンです。

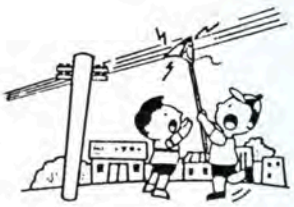
お父さん、お母さんへお願い。

電線の近くでは、タコを絶対あげないように、お子様へ御注意ください。

もし、タコが電線にかかったら危険ですから自分で取らずに、九州電力・加治木営業所(☎六二―二一二八)へ御連絡ください。

■電柱にのぼって取るのは、やめましょう。

■電線を竹ざおでつつくのは大変危険です。



うぶ声

出生児　保護者　自治会
吉村伸一郎　正和　里ノ下
中村　浩輔　誠　岩原西
宮原　美帆　英雄　東諏訪
福薗阿也花　昭二　春日団地
野間誠一郎　誠　赤坂
津崎　諒　忠　永山
別府　貴弘　三男　赤坂
岩元　天志　伸一　赤坂
仮屋　太就　啓登　吉原
鮫島よし美　博之　下浜
岩切　啓太　正利　垂ノ口
大宮路広夢　輝　反土黒川

▽十二月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。(　)内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　徳永　笹峯清美(母　スエ八七)
二万円　田中　福元フサノ(夫　秀治八六)
三万円　萩原　酒匂鉄也(二男　聡二四)
五万円　江湖　岡元よしゑ(夫　成穂七九)
三万円　毛上　末吉満也(母　シゲ八三)
二万円　岩原西　川原ナツ子(夫　美則七六)
三万円　曲田　福元フヂエ(母　イネ八五)
三万円　辺川下　中野光雄(長男　敏明三五)
二万円　西塩入下　竹内テル子(義母　森オスエ　八五)
五万円　吉原　中薗昌純(叔父　薫七八)
三万円　東ひなば　山口　悟(母　ナイ八〇)
五万円　札立　山内麻子(夫　辰雄六四)
三万円　江口団地　印南アイ子(夫秀清五九)
三万円　垂ノ口　古賀重典(弟　忠次五七)
十万円　反土黒川　松坂捨一(妻　シヅ八八)
十万円　西町　迫　ふじ(夫　幸雄六六)
二万円　上浜　長島智子(夫　末夫七一)
三万円　高井田　上野和一(父　十蔵八二)

＝町老人クラブ連合会へ＝

二万円　江湖　岡元よしゑ(夫　成穂七九)

＝町育英奨学資金へ＝

三万円　江湖　岡元よしゑ(夫　成穂七九)
二万円　札立　山内麻子(夫　辰雄六四)
五万円　反土黒川　松坂捨一(妻　シヅ八八)
二万円　吉原　中薗昌純(叔父　薫七八)

＝町身体障害者福祉協議会へ＝

三万円　吉原　中薗昌純(叔父　薫七八)

▽十二月二十日までの御寄付を掲載いたしました。

(年齢は満年齢)

特別寄付

百万円　㈲ファミリーショップ・ニシムタ(社長　西牟田明男)

㈲ファミリーショップ・ニシムタの西牟田明男社長が十一月十二日、加治木店の新装オープンを記念して、加治木町に百万円を寄贈されました。

町では、育英奨学資金として、教育振興のため末永く活用してゆくことにしています。

ありがとうございました。

記事訂正とおわび

十二月号の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正いたします。

▽十一ページ「京都国体など各種大会で大活躍」の記事中

■宮脇和子さん(三年)

(誤)　三キロ　11秒0

(正)　11分